

117社



地域が誇る 次代を創る

おかげさまで
20周年
since 1994

DATA.MAX

遮熱・断熱塗料とアスベスト除去 環境に対応する4本柱で次代を切り拓く

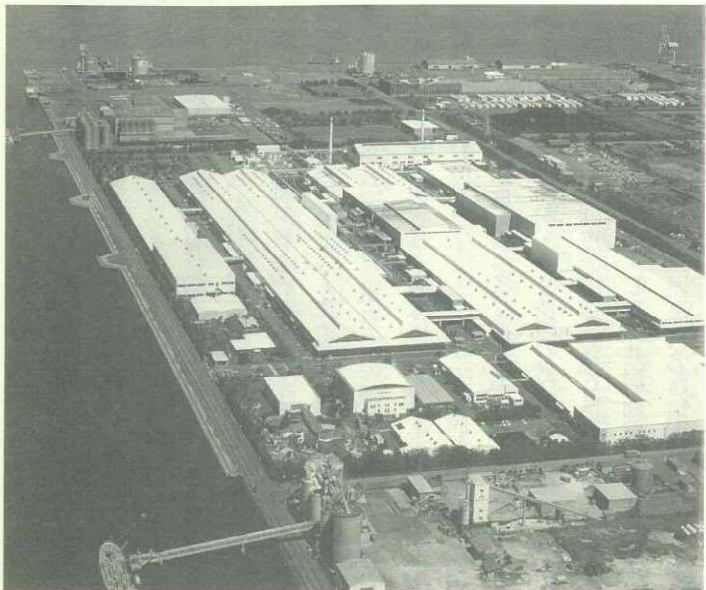
取り壊さずに再生・延命につなげる特殊塗料
製造から施工までを一貫して同社が行なう

21世紀は「環境の時代」と言われて久しいが、世の中の
どれだけの中小企業が環境に配慮した事業運営を行なっ
ているのだろうか。電力の節約といった省エネの取り組み、
CO₂の排出量の削減による地球温暖化対策、不用意に
廃棄物を出さないなど、環境に配慮するためにはさまざま
なハードルがある。しかしながら、「言うが易し、行なう
は難し」であり、実際に環境に配慮した事業運営を行な
うことのできている企業はそう多くはない。だが、環境型
特殊塗料製造会社のムライケミカルパック(株)は、数ある中
小企業のなかでも環境に配慮した企業と断言できる。

同社の看板商品は鉄製物および建築物に使用する特

請け負う「貫システム」を取る。これは塗料業界では珍し
く、製造から施工まで「貫して請け負う」からこそ、大中小
問わずさまざまな企業から信頼を得ているのである。

同社は環境に対応する4本柱を有する。老朽化したス
レート屋根などに塗り、強度の復元および反射・断熱効果
を有する「ケミカルカチオンパック工法」、建物の外壁に塗



YKK AP(株)九州事業所 ケミカルカチオンパック工法

殊塗料で、代表的塗料
は「ケミカルカチオン
パック」。独自の技術で
開発した合成樹脂で、
化学的に包むことで外
気を遮断し、恒久的な
美しさを保つ。鉄には
強力な防サビ効果を発
揮し、コンクリートやモ
ルタルには防水と化粧
を同時に施すことので
きる優れた物の塗料だ。
同社はこの塗料の製造
から施工までの一切を

COMPANY INFORMATION

代表	村井 正隆
所在地	福岡県久留米市藤山町696-5 (本社工場) 福岡市博多区博多駅東2-14-1 スフィクスセンター4F (福岡営業所) 東京都文京区小石川1-16-1 玉屋ビル3F (東京営業所)
設立	1967年4月
資本金	2億9,300万円
TEL	0942-21-7667
URL	http://www.murai.co.jp

ることで延命・保護・断熱化粧を行なう多機能性を有す
る「ケミカルエコパック」、金属の防錆効果のある「ケミカル
パック遮熱(金属用)」、社会問題となったアスベストの除去
および吹付けアスベスト粉塵飛散防止処理技術である
「ケミカルASR工法」だ。

ケミカルカチオンパック工法は、老朽化したスレート
の強度を20%から30%復元することが可能。3層構造
からなり、反射・断熱効果により屋根の表面の温度差は
スレートで21℃、金属は30℃以上低減、これにより室内
の温度が4℃以上下がるというもの。しかも、塗ること
で表面が汚れにくくなり、金属屋根の場合は錆の進行
を防ぐことができる。遮音効果で折板屋根の雨音を低
減するほか、スレートに含まれるアスベスト粉塵を封じ
込め、環境汚染を防止する機能を有する。たとえ施設
が老朽化していたとしても、同工法により復元、化粧す
ること、建物の延命につながる。しかも、工場などにお
いて操業しながらの再生施工が可能のため、作業を中
断することなく稼働させたまま迅速に施工できるのが
特徴。従来ならば解体、新築することで莫大な費用が
かかるケースも、同工法を用いることで費用も最小限
に抑えることができる。廃材も出ないため、環境にもと
ても優しいと言える。

テレビ東京のワールドビジネスサテライトでも紹介 10年保証は信頼と実績の賜物

昨夏は記録的な猛暑日が続き、電力会社の電気代も原発が稼働停止し、火力発電に切り替わっているため、コスト高にもなう電気料金の値上げが企業にとっても深刻な問題となった。そのようななかで、昨年はテレビ取材も多い1年であった。テレビ東京系の深夜の人気報道番組「ワールドビジネスサテライト」、地場テレビ局のRKB毎日放送の「今日感ニュース」のなかでも同社の技術が紹介された。最近では倉庫業界の業界紙「カーゴニュース」でも取り上げられたほか、J-R九州の宮崎・日南線のリゾート特急「海幸山幸」の列車の屋根の部分にケミカルカチオンパックの施工を行なったことが、共同通信社を通じて全国配信され、南日本新聞(鹿児島)などに掲載された。取材の背景にあるのは、長年の信頼と実績の賜物である。世に登場して20年以上経過する。そのため同社の施工には、10年間の保証を付けている。「従来の塗料はメーカーがつくり、施工を塗装業者が行ないますが、メーカーはこの塗料業者が使用しているかまではわからないため、保証を付けるにいいのです。その点、弊社では製造から施工までを一貫して行なっているため、保証ができます。20年以上の実績

健康被害を防ぐため、除去工事が各地で行なわれたが、今から約20年前、全国で9番目に建設省の建築物保全技術・技術審査証明の認定を取得した同社は、現在、名簿順は2番目となっている。同認定は5年に1度更新されるのだが、「我々よりも前に取得した7社の認定更新がなされてないということ」「村井社長」と言うように、実績の技術審査などを行ない、適切に行なわれたか、不法投棄および指名停止などの行政処分などのトラブルがなかったかをチェックしたうえで、7社が脱落したことになる。このような事態を憂い、昨年6月、環境省提出の法案が議会を通り、今年の6月から発注者側が罰せられることになった。「これからは規制強化で、でたらめな工事などは行なえなくなり、国もアスベスト裁判で負けていることから、技術のある企業のみが生き残ります」と村井社長。昭和30～50年代にかけてつくられたビルには、必ずと言っていいほどアスベストが使用されていると言われ、建て替えのピークの時期が平成30年頃になると言われている。同社は昨年、東京の丸井が本店することで話題となったJ-R博多駅横の博多郵便局の解体工事の際、アスベスト除去を担当した。同事業は今後、同社の追い風になることは間違いない。

同社の商品は、大手企業でも採用されるまでに最低でも3～4年かかることから、飛躍的に売上が伸びること

があるので10年間付けています。これが強みです」と、村井正隆社長は自信を持って語る。

大手サッシメーカーのYKK AP(株)九州事業所は、同社の塗料を採用して18年になる。15年目に同事業所がどれだけ機能が落ちていたかテストしたところ、10%未満であることがわかった。ほとんど機能性は変わらなかった。従来から同社の技術を採用するJ-R九州では、昨年話題となった「ななつ星 i n九州」の拠点である大分工場の屋根にも採用された。4年の歳月をかけ、2両のテスト導入から本格採用された東京の京王電鉄では、現在、1500～1600両で採用されている。また、最近では関東地方の富士フィルムの工場にも採用された。福岡県内に目を向ければ、三井ハイテックの工場、J-Aふくれん、学校のほか、福岡県および住宅供給公社を通じて公共団地での採用も増えている。

「アスベスト工事は発注者側の責任」に 6月より法律が施行。同社の追い風に

同社のもう一つの柱であるアスベスト除去工事「ケミカルASR工法」にも、追い風が吹いている。10年ほど前、社会問題ともなった発がん性のあるアスベスト粉塵飛散によるはなかった。そのため、苦しい時期も経験してきた。しかし、村井社長は苦しくても信念を曲げず、世の中が認めるもの、必要なものを送り出し、世の中の役に立ち、お客さまの役に立つのがビジネスの前提と、このブレない考えが会社の決算で好影響をもたらしたようだ。「弊社は9月決算なのですが、業績がいささか良くなりましたので、1月から従業員の給料をベースアップしました。社員がいて、会社が成り立ちます。社員が頑張ってくれて会社が大きくなります。だから我々は、久留米で一番高い給料を払える企業になることを目指します」と村井社長は力強く語ってくれた。環境対応型企業として、同社の知名度も向上している。今後の展開が楽しみな企業である。

PRESIDENT PROFILE



村井 正隆

むらい・まさたか

福岡県三井郡北野町(現・久留米市北野町)生まれ。福岡県立久留米高等学校卒、米国ニューポート大学大学院経営博士課程修了。1967年4月20日(昭和42年)、ムライケミカルパック(株)を設立。99年、福岡市より市政功労者表彰。2007年、大韓民国より修交勲章崇禮章を叙勲。